

16 農村

きりば

▼特集▼

農村 × ごはん
～いっぱい食べる君が好き～

農村流
季節の楽しみ方

▼写真特集▼

若者たちの休日



もくじ

学生と農村をツナグ 4

農村でなにをするの? 6

特集

農村流 季節の楽しみ方 8

農村 × ごはん 10
～いっぱい食べる君が好き～

写真集 若者たちの休日 12

農村インタビュー 14

佐治町河本集落 / 河原町神馬集落

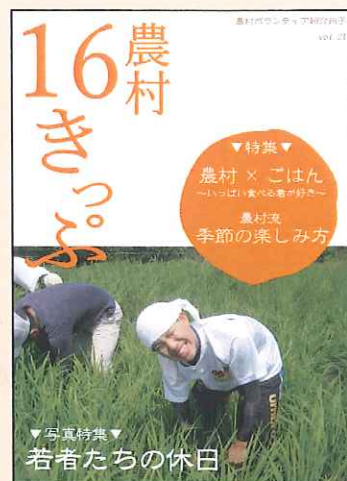
学生インタビュー 16

農村16きっぷリーダー 永井佑弥

集落紹介「わが集落」ガイド 18

農山村の皆様へ 22

編集後記 23



表紙

写真：三朝町福山

nouson
16
kippu

さあ、出発進行！

行き先を決めるのはあなた自身。

そして、素晴らしい体験。

素敵な交流、里山の風景…

そこであなたを待っているのは

34の集落へと続く農村16きっぷ。



学生と農村をツナグ

—農村16きっぷとは—

◆成り立ち◆

現在、鳥取の中山間地域の集落では高齢化や過疎化が深刻になっています。そんなとき、頼りになるのが若い力。例えば大学生のボランティア。元氣あふれる大学生が手伝ってくれることはとても頼りになります。しかし大学は四年制のため、鳥取県外から来た学生の多い鳥取大学では卒業後に地元に戻ってしまう人がほとんどです。

そこで当時大学生の一人だった田中玄洋さんは思いました。「4年で終わる学生と集落の交流はもつたいない。後輩にもつないでいきたい。」そうして生まれたのが、鳥取の農業ボランティア学生団体「農村16きっぷ」。

当初は16の集落とのつながりから始まった活動が、15年目の今では34もの集落でボランティアを行い交流しています。今年も鳥取県中部のボランティア依頼も加わり、初めて訪れる集落も増えました。今年度は全部で102回のボランティアを行いました。

◆活動紹介◆

農村16きっぷのスタッフは主に鳥取の大学生。平日は学校に通っていますが、週末の土曜日・日曜日には鳥取各地へ赴きボランティア活動をしています。作業内容は多種多様で、田植え、水路清掃、草刈りや猪柵設置など1年を通じて活動しています。また、交流を深めた集落からは、伝統的な祭りや神事のお手伝いに呼んでもらえることもあります。どの作業も学生生活では体験できないことが多く、新しい発見や魅力にあふれています。

そんな一日の中でも楽しみなのは、集落の方々と交流です。作業の休憩や慰労会では学生も参加するので、それを楽しみに参加しています。集落ならではの文化や食に触れて、大人も学生も関係なく楽しく過ごしています。

◆最後に◆

農村16きっぷの活動が評され、全国食と農林漁業に関わる学生によるプレゼンを発表する「食と農林漁業大学生アワード」に二〇一六、二〇一七年と出場しました。二〇一六年には農林水産大臣賞を獲得。その栄冠は農業新聞に掲載されました。

賞を獲得するにあたって評価されたのは、活動が当時で14年目と長きにわたっていたこと、活動によって鳥取県への移住者が14人いたという二点の実績です。これらの功績は現役スタッフのみの力によって残せたものではなく、今まで中心となつて活動を行ってきた先輩方の経験の積み重ねと知識の後継、作業や交流会で関わりのあつた集落の方たちの心強い力添えがあつて成しえたことです。そして、農村16きっぷという団体名に込められた「学生と集落をつなぐ」という活動方針

を形にし、その輪を広げる取り組みを行うことが出来ていたからではないかと思えます。

賞の獲得だけでなく、今日の活動の中でも私たちが集落により近い存在となれている事を実感する機会が増えてきました。自分たちの活動に対する誇りを胸にこれからも鳥取各地を訪れ、共に作業をする仲間として、集落との関わりを深いものにしていければと思っています。これから先、集落が学生の力を必要とする機会は増えていくと考えられます。その中で、私たちは集落と学生をつなぐ「きっぷ」のような役割を果たしていきたいです。



「食と農林漁業大学生アワード」の様子。2016、2017年と出場し、2016年には農林水産大臣賞を受賞。



現地に到着。集落の方の指示を受けて、みんなで作業します。



4月の水はまだ冷たい。でも周りに負けないよう力いっぱい泥すくい。



交流会では地元のお母さんたちが作ってくれたお昼ご飯をいただきました。美味しすぎてお代わりいっぱいしちゃう！



一緒に水路清掃したメンバーでの集合写真。また次のボランティアにも参加したいな！

のうそん 農村でなにをするの？

もちつき

新米を使う恒例行事。杵と臼を使いんこ、きなこちを食べて、

たもちつきは年末昔ながらの道具、ます。ヨモギやあのみきたてのおも新年を迎える準備はバッチリ！

交流会

作業が終わると、楽しい交流会！ご飯を食べながら集落の方とおしゃべりをします。いろいろな世代の方と盛り上げれば、思い出に残るボランティアになること間違いなし！

防護柵設置

イノシシやシカなどから作物を守るため、田畑を柵で囲んでいく作業。杭を打つハンマーや電気柵の扱いには気を付けて！

水路清掃

農業に使う水路を詰まらせる土砂や石、枯葉などをフォークやスコップで取り除く作業。水路がきれいになると気持ちもスッキリ。

田植え

一列に並んで手植えをします。体を起こし、あたりを見渡せば、そこには水面に映る青空と一面を埋め尽くす苗... 日本人なら一度は体験したい伝統行事。

草刈り

農作物が日光や雨を浴びてすくすく育つように、雑草もいたるところで増えていきます。草刈り機を使って雑草を刈り、美しい農村風景を保つことも集落の大切な役割のひとつ。

収穫いろいろ

農村では一年を通して様々な作物を収穫することができます。竹林が荒れることを防ぐためのタケノコ掘りイベントや、木に実る梅をもぎ取る梅収穫、手作業での稲刈りなどがあります。お土産として頂けるだけでなく、穫りたての野菜で作る旬の料理も楽しめます。

TAKENOKO

YASAI

OKOME



古代米田植え 南部町清水川集落

清水川集落は古事記で大国主命（おおくにぬしのみこと）が復活する際に使用したと言われる泉の湧き水が流れる集落で、ここでは、伝説の湧き水を使って古代米を育てています。田植えの時にはステージの上で伝説に出てくる大国主命や女神の格好をしたり、ひょっとこ踊りを踊ったりといった催し物に参加し、イベントを盛り上げます。



菖蒲まつり 伯耆町福永集落

菖蒲祭りは福永集落に伝わる菖蒲ヶ平伝説を題材にしたイベントで、6月中旬頃には満開の花菖蒲を楽しむことができます。この花菖蒲は学生スタッフが菖蒲園を整備する所から関わっている思い入れの深いボランティアです。このイベントの中で、スタッフは来ていただいた来訪者の方へ花菖蒲や菖蒲ヶ平伝説の説明をしたり、集落で作られた農作物の販売のお手伝いをしました。



自分たちは鳥取県内の様々なところにボランティアに行っています。その中でいつもの活動とはちょっと変わったボランティアをまとめて一気に紹介します！

農村流

季節の楽しみ方

柿ドロボー 日南町多里集落

多里地区の中には沢山の柿の木があります。しかし、柿の実がそのまま放置していたら、熊などの野生動物による被害を受けてしまいます。柿ドロボーはそういった被害を防ぐために行う集落公認の柿を泥棒するボランティアで、竹ばさみという昔ながらの道具を作成し、柿を盗っていきます。盗った柿はその場で食べたり、干し柿に加工したりしています。



ウグイ突き 気高町睦逢集落

ウグイ突きとはウグイと呼ばれる籠のような道具を使って、水を抜いたため池の底を突き、魚を捕まえるという伝統漁法です。この地区ではおよそ400年前から続いており、イベントの時には参加者全員でウグイを持ち池の中に入り一列に並んで魚を捕まえていきます。また、時には50センチをこえる大きさのコイを捕まえることもできます。



農村 × ごはん

～いっぱい食べる君が好き～



集落と

ごはん

わたし

ごはんを愛し、ごはんに愛された団体、農村16きつぷ。一生懸命ボランティアに取り組んだ後は、待ちに待った集落の方々と一緒にごはんを食べる慰労会がある。集落のお母さま方が愛情を込めて作り、振る舞ってくださった料理は格別においしい。おいしさはみんなの笑顔を誘い、幸せにしてくれる。数ある美味なご飯の中から今回は二つの集落を取り上げてみた。

◀ ちらし寿司 @板井原

シシ柵設置のボランティア後の慰労会の様子。力仕事でくたくたになり、お腹を空かした私たちの目の前に現れたちらし寿司。食べ始めると、箸の勢いが止まらない。色合いも味付けもすごく丁寧でおかわりが欲しくなる一品だ。身も心も満たされて、昼からの作業も頑張れた。



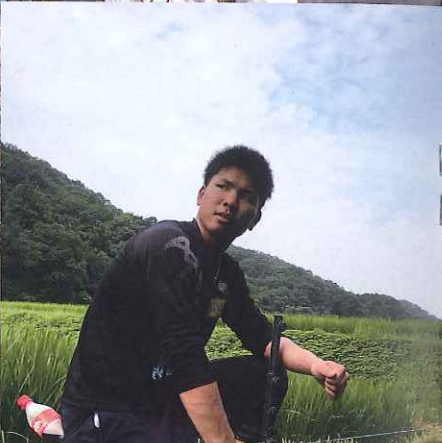
▶ 野菜のかき揚げ @神馬

麒麟獅子などの伝統的な祭りが行われる神馬集落。慰労会で出された野菜のかき揚げは、衣のサクサクとした食感と野菜の甘味がたまらない。疲れた体に染み渡るようなくせになる味だった。神馬集落の方々は気さくな方が多く、楽しい交流ができた。

集落の新鮮な野菜を使った地元特有の郷土料理をいただいたこともある。どれも御馳走で頬が落ちそうなくらいおいしいのだ。そしてなにより、大勢で食べるごはんは最高だ。慰労会ではたくさんの方と出会い、交流を深められる素敵な時間を過ごすことができる。そして、私たち学生より様々な人生経験を積まれている集落の人たちのお話はおもしろく、ためになる。また、学校のことや農村ボランティアについていろいろ相談に乗ってください、改めて自分を見つめ直すことができました。

一緒に食卓を囲むことによって学生と集落をつなぐ。集落には世代を超えて楽しめる出合いが待っている。そんな素敵な出合いも農村の魅力ではないだろうか。

(編集：吉田 康浩)



写真集

こんな大学生と農作業しませんか？

若者たちの休日